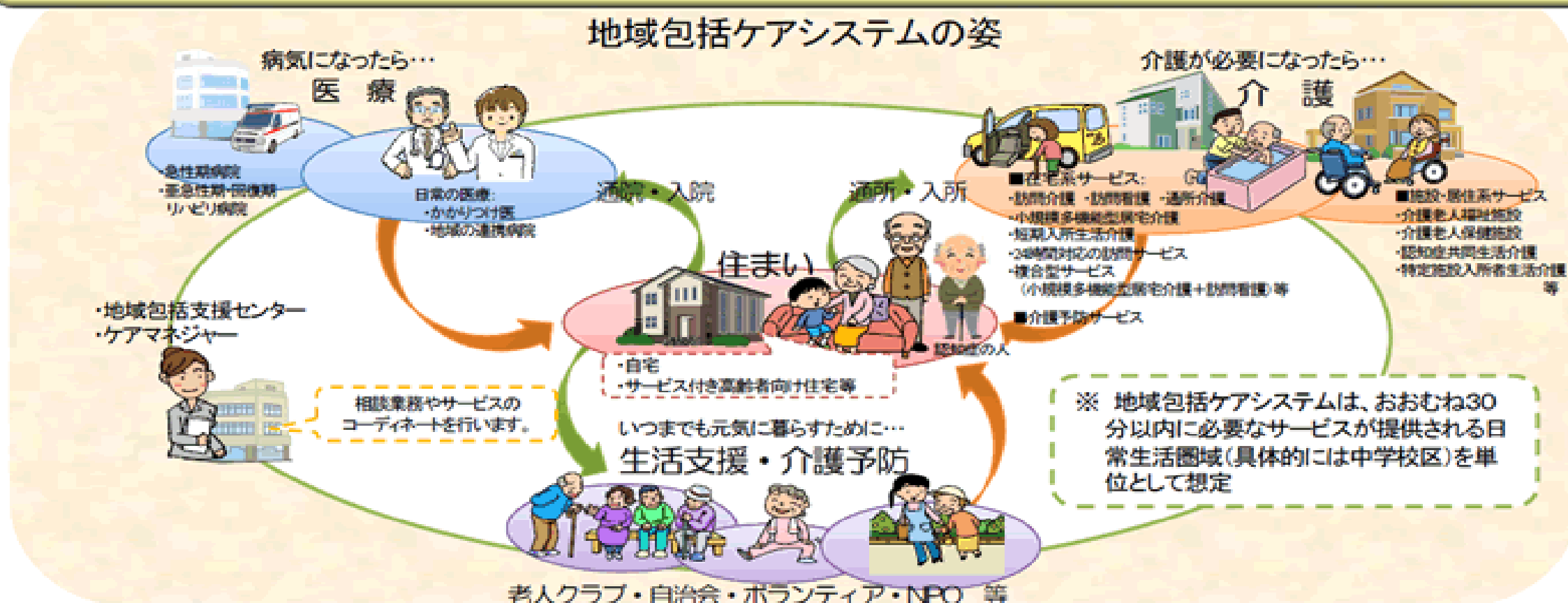


東区地域包括ケアシステム推進方針について

◆地域包括ケアシステムとは

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
 - 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
 - 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要**です。



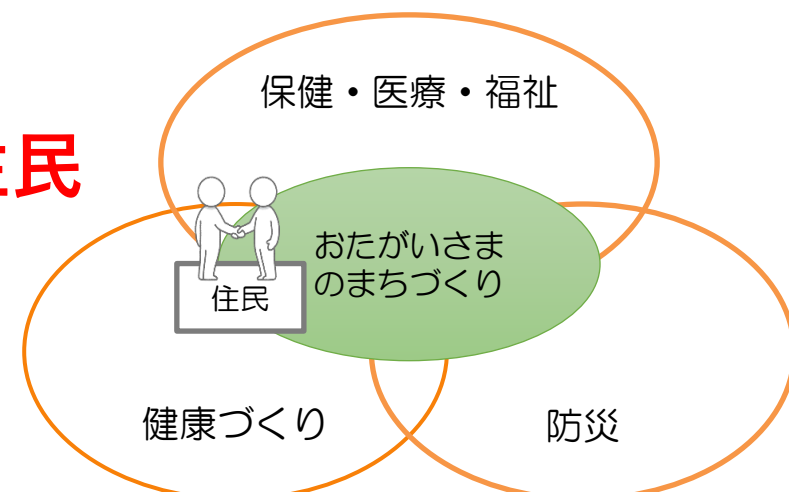
◆東区の現状

- 高齢化率は平成29年4月時点で22.4%（市と比較すると低率）だが、2025年までの8年間に、**後期高齢者が39.7%（7,600人）増加**し、**要介護（支援）者や認知症高齢者が急増**することが見込まれる
- 子育て世代の転出入も多く、**子育ての孤立を防止し安心して子育てできる環境**が求められている
- 身体や知的、精神障がいの**各手帳を所持している方は年々増加**している



◆東区がめざす地域包括ケアシステムの姿

高齢者をはじめ、子どもや障がい者等**すべての住民**が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし、**「おたがいさま」の心で支え合えるまちを住民と共につくる**



健康づくりや防災の視点も含めた

包括的な「まちづくり」

◆取り組みの方針（4本の柱）

1 住民の主体的な取り組みを推進する体制作り

身近な地域で誰もが安心して暮らしていけるよう、既存の地域の見守りやサロン活動などの推進を図ると共に、市民や関係団体との協働により「おたがいさま」のまちづくりを展開します。

- 【主な取り組み】
- ・地域包括ケアシステム推進会議（協議体）
 - ・各種ボランティア養成講座 ほか

2 住民を中心とした医療・保健・福祉等多職種連携の推進

住民を中心に医療・保健・福祉等関係する多職種で情報を共有し、地域の課題についての共通理解を深め、課題解決に向けて連携できる体制の充実を図ります。

- 【主な取り組み】
- ・事業所連絡会
 - ・地域ケア会議 ほか

認知症の人が安心して自分らしく暮らせるまちは
全ての人にとって安心して暮らせるまちであると考え
各事業の展開に際しては認知症施策の視点をもって進めることとします

3 すべてのライフステージとあらゆる健康段階での健康づくりと予防・自立意識の醸成

健康寿命を延伸し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、若い世代からの健康づくりに取り組み、市民はじめ行政、関係機関等が連携し、あらゆる健康段階において予防と自立の意識の醸成を図ります。

- 【主な取り組み】
- ・生活習慣病予防対策事業
 - ・くまもと元気くらぶ ほか

4 認知症や障がいのある方と家族を地域で支える環境づくり

高齢者のみならず、生活上の困難を抱える障がい者や子どもなどが、地域において自立した生活を送ることができるよう、地域住民による支え合いと公的支援が連動し、地域を『丸ごと』支える包括的な支援体制づくりをめざします。

- 【主な取り組み】
- ・認知症サポーター養成講座
 - ・認知症徘徊模擬訓練実施支援 ほか

◆それぞれの主体に期待される主な役割

主体	期待される主な役割
住民 （地域）	・自らの健康に関心をもち、自らの健康管理に努める ・健康状態に応じ、自分の力を活かし社会生活を送る意識をもつ ・地域の見守りや支えあいの基盤となるさまざまな地域活動（自治会や趣味の活動等）に、積極的に参加し、活動の継続や活性化に努める ・子どもたちに、地域活動に参加する機会や多世代と交流する経験を通じ支え合いの一員としての意識をはぐくむ ・人生の最期をどのように迎えたいかなど、一人ひとりが考え、身近な人と話す機会をつくる
関係団体 （事業所、 職能団体、 企業、 学校等）	・本人のもてる力を活かす支援のあり方について、本人や家族、関係機関と共有するよう努める ・関係機関とのネットワーク構築を推進し、地域活動を支援する ・専門職としての知識やスキルを、住民として地域に還元する意識をもつ ・高齢化の問題は若年層の問題でもあることを意識し、若い世代への啓発を行う
東区	・東区の地域課題の整理とその解決に向けたさまざまな取り組みを広報し、優れた取り組みの区内への波及を図る ・自立を支えるネットワークづくりと、支えあいの仕組みづくりを推進する ・熊本市地域包括ケアシステム庁内推進会議への施策提案を行う

それぞれの地域の実情に応じて、まちづくりの主役である **地域の住民や団体** が自主性や主体性をもち、**「自助」「共助」「公助」** の基本理念のもと、**一体となって取り組みを進めること** が最も重要

◆東区地域包括ケアシステム推進会議 体系図

